

使っている花 ■ スプレーマム
(マイクロポンポンピンク、ナボ
ナ)、リモニウム(雲竜)、ペニ
セツム・レッドフォックス



9月
September

WEEKEND
FLOWER

マム

花言葉 高貴/あなたを愛します

多彩な魅力を楽しみたい！
「重陽の節句」からはじまるマムシーズン

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- バクテリアに強く水だけで美しく咲きますが、切り花栄養剤を使用することで、色鮮やかに大きく咲き、いっそう長く楽しめます。
- 切り花栄養剤を入れて抗菌しつつも、暑い時期は3日に一度くらいの頻度で水替えし、茎を切り戻しましょう。水替え時も切り花栄養剤を使用するのが理想です。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① マムの下葉はできるだけ丁寧に取り除きます。リモニウムは小枝ごとにカットして、あらかじめ小分けにしておきます。
- ② マムを数本手に持ち、マムを囲むようにリモニウムの小枝を束ね、最後にレッドフォックスの穂が飛び出すように添えて、ざっくりとブーケ状にまとめます。茎の長さを揃えるようにカットして、輪ゴムなどで留めます。
- ③ バスケットの中に水が入った器を仕込み、2.のブーケを手前に傾けるようにあしらいます。野原で摘んできたばかりの花のような、ナチュラルな雰囲気になれば素敵です。

不老長寿を願う高貴な花

キク=マムは学名Chrysanthemumの略で「黄金の花」という意味。日本は世界一の生産量と消費量を誇るマム大国。旧暦9月9日は「重陽(ちょうよう)の節句」、菊を愛で、菊酒や菊の香りをまとい不老長寿を願いました。豪華なデコラ咲きやポンポン咲きが洋花とも相性がよく人気の中、注目は極小輪系のマイクロスプレーマム。秋の草花とも相性抜群です。

